

2019年度 第3回理事会 議事録

日 時 2019年12月14日(土)14時00分～15時40分
場 所 北海道立総合体育センター 大研修室
出席者 生島典明、黒田謙二、渋谷研一、印藤智一
家近昭彦、田中昌幸、沓沢幸一、丸山道博
浅野泰弘、櫻庭功一、春間好実、田中 淳
佐藤敏夫、川埜保幸、西谷清之、高橋克徳
関原榮司、宇野 要、柴田一徳、奈良孝伸
宮原 勉、松野清佳、阿部 豊、前田賢一
大西能正、川村俊明、高坂 猛

1. 開 会

※総務委員長が、理事33名中25名の出席があり理事会は成立することを報告した。

2. 会長あいさつ

師走で忙しい中にお集まりいただきお礼。2019年度の事業も年明けの高校新人大会を残し順調に進められ、これもひとえに皆様のご協力の賜物であり、この場を借りて深く感謝を申し上げる。

今年は旭川で8月に天候の心配の中クラブカップ6人制男子選手権大会が旭川協会はじめ多くの民さんの協力で成功裏に終了。9月に開催された2019ワールドカップ女子札幌大会も入場券が前売りですべて完売となり、特に札幌は盛り上がりを魅せ大会は大成功のうちに終了した。懸念されていたワールドカップラグビーとの帰路バッシングも、実行委員総動員でトラブル無く対応できた。

しかしながら良いことばかりでは無く、大変残念なことに当協会が昨年に引き続き、指導者による選手への暴力事件が発生し、倫理委員会報告に基づき処分を決定した。

委員長からは度重なる暴力事件に対し協会としての綱紀粛正が求められ、私共一人ひとりがこのことを真摯に受け止め、協会一丸となって対応を行かなければならない。

本日の理事会では、今年度前期事業実施状況などの報告ほかについてご協議いただきでよろしく願います。

3. 議事録署名人に選出

※以降は、規約に基づき会長が議長を務める

議事録署名人に生島会長の外、根室協会阿部理事、浅野常任理事の2名を指名する。

4. 報告事項

(1) 2019年度前期事業実施状況について

①総務委員会（理事会資料2PのH30登録数のヤングU14の数値はヤングU17に修正）

・各種会議の開催、健全な財政運営、体罰・暴力・暴言などの根絶、新MRS登録、国際大会の実

施について報告がある。小連の MRS 登録数について、男女混合について今年度から MRS 登録の取り扱いが変わったため、減少数は表示上多くなっているが、現状での減少は無い。

②競技委員会（理事会資料 3P）

・委員会開催、大会運営は残り高校新人大会のみ、ワールドカップの運営では札幌協会の競技部及びママ連の協力を感謝申し上げる。

③審判委員会（理事会資料 4～5P）

- ・正岡卓氏(函館)が台湾で開催されたアジアスクールで試験に合格しアジア国際審判員となる。
- ・小澤敦氏(根室)、宮澤彰恵さん(釧路)が 9/1 付けで A 級審判員に合格した。今後 1 年間 A 級候補審判員として活動する。
- ・日本協会カテゴリーレフェリー研修として 9 人制 N1, N2, 6 人制 S1, S2, S3 の合計 11 名が全国で活躍している。
- ・日本 B 級審判員資格取得講習会の合格者名簿及び北海道名誉審判員の推薦名簿の報告がある。

④導普及委員会（理事会資料 6～8P）

・各種会議の開催、指導者研修会バレーボール教室、小学生、中学生競技大会関係、指導者養成講習会関係等つつがなく事業を消化している。残すは中学生のジュニアキャンプ事業となっている。

⑤強化委員会（理事会資料 9P）

- ・会議前段の JOC 壮行会に参加頂きお礼申し上げます。大会は 12/25 開会式、26 から試合が始まる。
- ・各種会議の開催、中学生、高校生の強化、各行事を滞りなく行った。中学生では 2023 の北海道インターハイに向け、対象となる中学生 1, 2 生をゴールド事業として新たに選手を数名選出し事業を行っている。高校生では V リーグのチームと強化練習会を実施した。
- ・国体では昨年の少年女子に引き続き今年は成年男子が 7 位入賞を果たした。

(2) 2019 年度一般会計執行状況について

○収入の部では繰越金の増。収支とも予算通り執行されていると総務委員長の報告がある。

<2019 年度前期事業実施状況、一般会計執行状況は承認される>

(3) 2019 ワールドカップ女子札幌大会報告について（別紙 1）

○実行委員長の渋谷理事長より本日 16 時開催の最終実行委員会に諮る資料（入場者数、大会結果、収支決算書）の説明がある。特に今大会は 3 日間ともチケットが完売し、先行販売ではママ連の 400 万円を最高に各加盟団体から総額 1 千万円を超える売り上げがあった。最終的に北海道協会は 5, 129, 167 円の収入決算見込みがあり、予算化の詳細は 3 月予算、5 月決算の際に報告する。

○ワールドカップ全体の最終決算は 1/15 にフジテレビで拡大実行委員会が開催される。

<承認される>

5. 協議事項

(1) 令和 2 年度全道大会開催地について（別紙 2）

○競技委員長より令和 2 年度北海道バレーボール協会・全国大会競技日程(12 月 10 日現在)の説明があり、未定のクラブカップは調整中、ヤング連は 12/22 に決定、ビーチは 2 月予定となっている。

○渋谷理事長より全国大会及び V リーグ関係の日程について報告がある。

2020年ヴィンテージ大会(函館)、2021年全国社会人東ブロック(帯広)、Vリーグの日程は7月以降に決定、ホームゲームが旭川、札幌を中心に年2回ずつある。女子V1のデンソーの試合は年1回Safilvaとの共同開催(11/28, 29)となる。

○オリンピックパラリンピックの間中は全道、全国大会の実施は控えることになっているが、夏休み中の7/29~31に中体連の全道大会を実施する。マラソン・競歩の日程とは重ならない。

<承認される>

(2) 倫理委員会報告について(別紙3)

○総務委員長より倫理委員会山本理人委員長からの北海道バレーボール協会競技者及び役員倫理規程に基づく処分内容についての報告がある。

○新年度から指導者が集まる会議等において山本倫理委員長による講演会の機会を設けることを報告する。また、倫理情報等は各地区指導者の隔々まで届くよう今後総務委員会で検討及び工夫し発信する。のホームページ等への公表期間の基準を検討し次回理事会に提案する。

<承認される>

(3) 財政等検討会議検討事項について

○総務委員長より第2回理事会に提示した財政検討案について、11/9に影響が強い社会人4団体と協議し了承を頂いたことを踏まえ、次年度の予算に反映するため、財政等検討案を提案する。

<承認される>

(4) 北海道バレーボール協会Vプレミアリーグ等助成金交付要綱の改正について(別紙4)

○総務委員長より現在は「Vプレミアリーグ」の名称やVリーグの運営委託方法もホームアンドアウェイ方式に変更されているため、JVA主催の全国大会の際に使用する要綱として名称の変更、内容の整理修正、申請書の修正等、改正案の提案がある。

<質疑・意見等>

○黒田副会長 大会運営で赤字の場合、協会の負担10万円を限度というのは少ないのでは。
→赤字分は加盟団体と道協会の折半とし上限を30万円と渋谷理事長より修正案がある。

<第5条の原案を修正することで承認される>

(5) その他

○審判委員長より日本B級審判員資格取得講習会の合格者名簿及び北海道名誉審判員の推薦名簿の報告と承認をお願いする。

<承認される>

6. その他

(1) 日本協会関連

○渋谷理事長より12月9日に全国ブロック理事長会議の内容について、すべて協議中の案件で次回2月10日の会議で決定したものを3月の理事会で報告する。ビーチの大会は全国を回るため、札幌も候補となっている。

○オリンピック関連では4/21~26新有明会場で開催する国際大会の前日20日にVリーグ関係者で代表者激励会を開催する。道協会も北海道出身の選手、審判員の激励会を予定してる。


○3月の理事会の際に北海道を訪れる日本協会役員との意見交換の場とすることを予定している。


(2) 各委員会関連

- 総務委員会 協会参与六郷隆義氏(苫小牧協会)がご逝去、協会副会長紺屋正雄氏のご母堂様が2月にご逝去されたことの報告がある。
- クラブ連盟 MRS登録について、今まで各地区協会に登録していたチーム登録を、次年度より北海道クラブバレーボール連盟に登録管理業務を変更する。次年度登録時期までにチーム継続方法の変更点等を各チーム及び各地区協会事務局に連絡を行う。
9人制大会活性化のため、次年度より連盟主催の会長杯、道コカ杯、道デサント杯の9人制の部を廃止し、新たに9人制のみの大会を実施する。第1回大会は4/29の開催で準備予定をしている。
- 苫小牧協会 西谷理事より「U15日本代表中学生海外遠征へのご寄付のお願い」の案内に関して問い合わせがあり、中体連専門委員会前田賢一専門委員長から海外遠征の経緯と寄付及び協賛金についての説明がある。
- 留萌協会 宇野理事より留萌管内のスポーツ交流事業があり各自治体で合宿の補助制度を実施している。初山別村でも2泊以上の合宿で補助があるのでご活用願いたい。

7. 閉会

【次回：令和2年3月14日(土) 13:30～ 北農健保会館】

議事録署名人 会 長 生島典明 

議事録署名人 阿部 豊 

議事録署名人 浅野 泰弘 